

編集後記

去る五月に出した本誌第一号の巻末で、「この次には一層力のこもつたものになりたい。」と意気込んで見たが、ともかく、第二号を出せることになった。果して、より力のこもつたものかどうかは、大方の批判に俟たなければならないが、尠くとも、執筆者の数から見て、前号の五名に対し、今回は九名を計え、内容も一層多様性を増したことは、編集世話人としても、喜びに堪えない。唯、長清子氏は、その論文も殆んど完成していたが、身辺の慶事により本号には発表出来なかつた。尚、守谷英次氏のものも、同氏の健康上の理由により残念乍ら次の機会に譲つた。

本研究所運営の趣旨及びその課題については、前号、日高所長の「巻頭のことば」に既に明かであるが、本誌は出来るだけ、この課題の遂行過程の内容的な報告でありたいとねがい、同時にそれによつて、我国現代の課題にも何らか応えるところあらんと念願するものである。今後とも皆様の御指導、御批判を頂ければ甚だ仕合せである。

(編集委員、秋田、長、小島、関屋)

「ICU教育研究」第二号

昭和三十年十一月十五日 印刷
昭和三十年十一月二十日 発行

編集兼
発行者

国際基督教大学教育研究所

三鷹市大沢一五〇〇
電話武蔵野(三九八)三七九一番

代表者 日 高 第 四 郎

印刷者 東 亜 印 刷 株 式 会 社

東京都豊島区高田南町三ノ七五五